

アメリカ合衆国における村上春樹研究の若手第一人者

## Matthew Carl Strecher 氏講演会

6月6日（金）午後5時40分から午後7時10分頃

東京外国語大学、研究講義棟 212 教室

Strecher 氏の村上春樹体験とご研究についてお話しいただきます。

言語は主に英語、日本語も可

現代日本文学ゼミ、現代アメリカ文化ゼミ、総合文化研究所共催

(科学研究費補助金、基盤研究 C 課題による)

問い合わせ (加藤研究室: [yujikato@tufs.ac.jp](mailto:yujikato@tufs.ac.jp))

海外で「村上春樹」/「Haruki Murakami」はどのように読まれ、研究されているのか？興味のある皆さんの参加をお待ちしています。Strecher 氏は現役の先生でもありますので、英語での講義を経験したい皆さんも是非御来聴ください。



Dr. Matthew Carl Strecher

アメリカ合衆国、Winona State UniversityのGlobal Studies and World Languages プログラム所属。現代日本文学・文化専攻。University of Texas-Austinを経て、Haruki Murakami and the Music of Wordsの著者Jay Rubin氏などの指導を受け、University of Washington-Seattleで博士号取得、東洋大学で教鞭をとられていたこともある。村上春樹の『ねじまき鳥クロニクル』についての注解書と研究書Dances with Sheep: The Quest for Identity in the Fiction of Murakami

Haruki (University of Michigan Center for Japanese Studies, 2002)

があり、今年8月には3冊目の御著書を出版予定。東京外国語大学出版会から近日刊行予定の『世界文学としての村上春樹』にも御寄稿いただいています。